

韓国清教徒研究所 新書 1

真理 分別

ウェストミンスター信仰告白書 解説

金洪晩 著



——Westminster Confession of Faith——

序言

ウェストミンスター信仰告白書 神学

(Theology of the Westminster Confession of Faith)

- ア. ウェストミンスター信仰告白書の歴史
 - 一 神学的 (Historical-Theological) 背景
- イ. ウェストミンスター信仰告白書の 神学的 構造
- ウ. ウェストミンスター信仰告白書による、誤りに対する 論駁等々
- エ. ウェストミンスター信仰告白書の 現代的 有用性

聖書論

- 第1章 聖書

神論

- 第2章 神、三位一体
- 第3章 神の永遠の聖定
- 第4章 創造
- 第5章 摂理

人間論

- 第6章 人間の墮落、罪、その刑罰

キリスト論

第7章 神の契約

第8章 仲保者キリスト

救済論

第9章 自由意志

第10章 有効召命

第11章 義認

第12章 子とすること

第13章 聖化

第14章 救いに至る信仰

第15章 命に至る悔い改め

第16章 良きわざ

第17章 聖徒の堅忍

第18章 救いの確信

キリスト者の生活論

第19章 神の律法

第20章 キリスト者の自由・良心の自由

第21章 礼拝と安息日

第22章 合法的誓いと誓願

第23章 国家的為政者

第24章 結婚と離婚

教会論

第25章 教会

- 第 26 章 聖徒の交わり
- 第 27 章 聖礼典
- 第 28 章 洗礼
- 第 29 章 主の聖餐
- 第 30 章 教会の譴責
- 第 31 章 地方会議と総会議

終末論

- 第 32 章 死後の状態と死人の復活
- 第 33 章 最後の審判

後記：ウェストミンスター信仰告白書 1903 年改訂版と韓国長老教会

(Revision of the Westminster Confession of Faith 1903 and Korean Presbyterian Church)

- ア. アメリカ長老教会の 標準文書
- イ. 1903 年のウェストミンスター信仰告白書の 改定
- ウ. ウェストミンスター信仰告白書の 改定以降と 神学的評価
- エ. 韓国長老教会と ウェストミンスター信仰告白書

序言

教会史 2,000 年の間、キリストが建てられた真理は、悪魔と世から続けて攻撃を受けて来ました。その都度、真理を通して救いの恵みを経験した、真理を確信していた神の人々は、真理を弁護しました。神の人々は真理を弁護する時、常に偽りと異端の曲げられた教えについて指摘しました。教会に偽りが入って来るようになれば、間違った救済論が拡散され、敬虔が崩れることを余りにも良く知っていたからです。このような偽りとの戦争は、旧約の時から使徒時代は勿論、今日までも続けられています。旧約の預言者たちも、偽りの教えについて責め（エレミヤ 28:15）、キリストもパリサイ人とサドガイ人たちの教えについて責めたのです（マタイ 16:11, 12）。使徒たちもほかの福音（ガラテヤ 1:6-9）、偽預言者（Ⅱペテロ 2:1）、反キリスト（Ⅰヨハネ 2:18）という用語を使いながら、誤りについて厳しく指摘しました。使徒時代以降、教父時代と宗教改革時代、清教徒時代、18-19 世紀の霊的大覚醒時代にも、神の人々は、教会に入ってくる偽りと異端の誤った教えについて指摘し、責めたのです。勿論、彼らは、偽りと誤りを示すために、真理をより一層はっきり説明しました。

そのような時代の中でも、特に、清教徒時代は真理に対する弁護と、誤った誤謬性を最もはっきり示しました。清教徒たちは、真理の純粋性を確保してこそ、教会の拡張と神の国の進展があることを知っていたからです。清教徒たちは、真理をはっきり示し、曲げられている誤謬性を明らかにするため、真理を明確に叙述しました。真理を教え、誤りを見極め、教会から絞め出すのが牧会者にとって教会を建てる唯一な方法でした。トーマス・ワドソン（Thomas Watson）は十戒の第 6 の戒め（殺してはならない）を講論しながら、真理を教えなかったために靈魂を飢え死させる牧会者は殺人者だと呼び、偽りの教えを教えて靈魂を毒殺させる牧会者も殺人者だとしました。それゆえ、清教徒たちは、真理を鮮明に説明し、誤りを締め出すための信仰告白書を作成したのです。また、清教徒たちが信仰告白書を作成したその当時の誤った教えは、今の時代、今日も相変わらず流行しています。従って、ウェストミンスター信仰告白書は、今の時

代にも、真理と誤りとを明白に区分させる真理の基準となりますが、20世紀の改革神学者であったジョン・マレー (John Murray) は、2,000年教会史の中で、ウェストミンスター信仰告白書と比較できる信条と信仰告白書はないと語ったのです。

ウェストミンスター信仰告白書の歴史神学的背景を深く理解してこそ、また信仰告白書の内容が、どのような誤りについて論駁したのかを知るようになるなら、清教徒たちが、どのようにしてその誤りを教会から退治させたのかを悟るようになります。最も清教徒たちが警戒していた誤りが、今の時代にも相変わらず教会の中で流行っていること、今の時代も、そのような誤りと何ら相違ないということに衝撃を受けるかもしれません。従って、本書を通して読者の皆さまが、真理に対する叙述を確実にし、一方で、誤り等々を退治させ、教会に改革が起こることを望みます。

金洪晩 牧師 (Ph. D. Southwestern 神学大学院 教授)